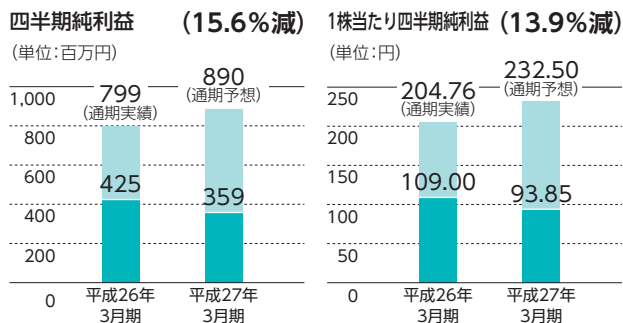
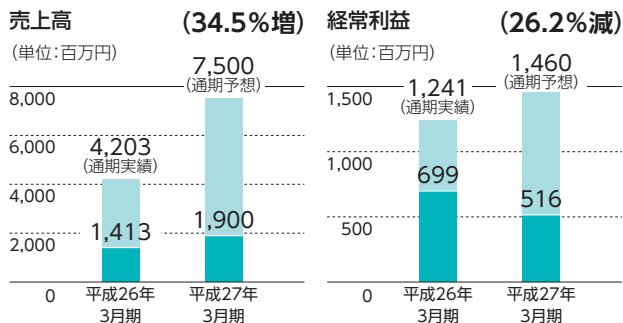


第1四半期業績ハイライト



BSPニュース

震災復興のご支援

平成26年6月18日、当社は第32期定時株主総会および株主懇談会を開催し、株主さま97名とお連れさま14名の方にご参加いただきました。

ご来場いただいた株主さまには、三陸鉄道と地元企業の支援に繋がることから、「三鉄カレーセット」をお渡しました。

また、4月と6月に開催した社内イベントにおいては、会費の一部を震災復興支援団体へ寄付しました。

震災から3年半が経過しようとしています。当社は今後も微力ながら継続的な取り組みを行ってまいります。



定時株主総会の様子



三鉄カレーセット

BSPニュース

システム管理者感謝の日イベント

平成26年7月16日、当社が事務局を務める「システム管理者の会」は、年に1度の「システム管理者感謝の日イベント」を開催しました。

今年のテーマは「すべての企業がITを武器にする時代の『エンジニア魂』を考える」。ビジネスの可能性をITで広げていくこれからの時代に、ビジネスを支えるITエンジニアになるためにはどのようなスキルを身につけ、行動すればいいのか、プロフェッショナルを講師にお招きし、そのヒントを探りました。

また、プログラム終了後の情報交換会では、テーマ別と同じ興味・関心を持った方同士が情報交換できるスタイルの懇親会を実施しました。各ブースともお互いの質問を受けたり議論を交わしたりと大いに盛り上がりしました。

「システム管理者の会」は、システム管理の仕事に就いている方が生き生きと働き、会社や社会に貢献できる活動の場とキャリア形成の道標づくりを進めてまいります。



「エンジニア魂」をテーマに455名がご参加



IRカレンダー

- 11月6日(木):平成27年3月期第2四半期決算発表
- 12月5日(金):第2四半期BSP通信発送
- 12月8日(月):中間配当金お支払開始予定

会社概要 (平成26年6月30日現在)

| | |
|--------|---|
| 商号 | 株式会社ビーエスピー |
| 設立 | 昭和57年5月 |
| 上場 | 東京証券取引所 JASDAQ市場 (証券コード:3800) |
| 資本金 | 13億3,000万円 |
| 所在地 | 〒108-6029 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟 |
| ホームページ | http://www.bsp.jp/ |
| お問い合わせ | 広報IR室 TEL:03-5463-6384 |

株式会社ビーエスピー
証券コード:3800



平成27年3月期 第1四半期 決算レポート

平成26年4月1日～平成26年6月30日

両社の結束を強化

組織融合と先行投資分野に注力

お客様の課題解決事例ご紹介

ビーコンIT編

業績ハイライト

BSPニュース

震災復興のご支援

システム管理者感謝の日イベント



代表取締役
社長執行役員 竹藤 浩樹

立秋とは名ばかりの厳しい暑さが続いています。株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

8月7日に発表いたしました、平成27年3月期第1四半期決算の概要をご報告申し上げます。

決算の概要

両社の結束を強化し組織融合と先行投資分野に注力

今期は、グループ各社の経営資源を有機的に連携し、一層の成長に向けた取り組みを推進して行く、**Re Born(リボーン: 事業構造の再構築)**に向けたスタートの期となります。グループ社員数も二百数十名から四百数十名となり、7月には品川にオフィスを統合し、お客様のお役に立つ製品とサービス提供にワイワイ、ガヤガヤと知恵を絞っております。

当第1四半期では、**1.先行投資**においては、「クラウド事業の再編・強化」「ビッグデータ系およびBPM(ビジネスプロセスマネジメント)系事業への対応強化」、「運用自動化をさらに進めるためのRBA(ランブックオートメーション)技術の調査」。

2.収益力強化のための見直しにおいては、「ビーコンITにおける他社製品取り扱いの一部取りやめ」「価格競争の厳しい大型案件受注方針の見直し」。

3.両社協働においては、「グループ経営理念の組織への浸透活動」「両社の製品やサービスを相互のお客様に提案しあうクロスセールスによるお客様ニーズの掘り起こし」「営業イベントの共同開催」等を行いました。

これらの結果、当社グループの当第1四半期における売上高は19億円(前年同期比34.5%増)、営業利益は4億31百万円(同35.2%減)、経常利益は5億16百万円(同26.2%減)、四半期純利益は3億59百万円(同15.6%減)となりました。

事業別の取り組みと業績の状況

【データ活用事業】

データ活用事業売上は、5億15百万円、営業損失は84百万円となりました。(本事業は、ビーコンITグループの事業領域のため前年同期比は記載していません)

お客さまにおいては、消費税対応が完了し、延期されていた保守・開発案件が再開されました。IT部門の人手不足感の強まりもあって、データ活用分野におけるサービス受注は堅調に推移しましたが、お客さまの新規のソフトウェアへの投資は慎重になっており、プロダクト製品の販売が停滞しました。

【システム運用事業】

システム運用事業売上は、4億49百万円(前年同期比1.6%増)、営業損失は1億79百万円(前年同期は88百万円の損失)となりました。

プロダクト事業では、好調な景況感のなか、コスト削減より売上拡大に係る投資を優先するお客様の投資判断の影響を受け、製品販売や保守料が減少しました。

技術支援においては、大規模なシステム運用基盤の構築を検討されるお客さまのニーズを捉え、当社コンサルタントによる上流設計から当社技術者によるシステム移行支援および日々の運用代行までを含めた大型案件を受注しました。また、メインフレーム環境からオープン環境へ移行されるお客さまに対する技術支援売上も伸長しました。

【メインフレーム事業】

メインフレーム事業売上は、8億7百万円(前年同期比16.9%減)、営業利益は6億71百万円(同13.5%減)となりました。

前年同期においては大手ユーザの特需案件があったこと、オープン化やダウンサイジング化による案件の小型化の影響を受け、前年同期比では減少したものの、生損保業界や金融業界での災害対策強化やシステム増強、サーバ更改案件が増加し、業績は期初に想定していた減少率を下回ることができました。

【その他事業】

その他事業売上は、1億29百万円、営業利益は24百万円となりました。(本事業は、ビーコンITグループの事業領域のため前年同期比は記載していません)

(株)アスペックスでは、景気回復による人材派遣市場の好転を見越し、人材派遣業向け勤怠管理システムの販売を強化した結果、製造業および物流業のお客様からの新規案件を受注しました。また、(株)ビーティスでは、災害対策および事業継続対策のためにシステムを二重化する動きが強まるなか、BCP対策関連サービスの受注が増加しました。

お客さまの課題解決事例ご紹介

ビーコンIT編

超高速データ抽出、変換・加工ツール

「Waha! Transformer」で

鮮度の高いデータ集計をサポート!

大手自動車部品メーカーであるD社。同社の開発技術者は、開発工数の管理強化や設計プロセス改善による効率化のために、作業工数の集計レポートをまとめていました。しかし、当時は、社内各所に分散しているデータを収集し、多数の開発技術者全員の作業月報を集計レポートにするには、専任スタッフ4人がかりで2ヶ月もの日数を要しており、改善の意思決定に遅れが生じていました。

そこで、データ収集作業の自動化による業務改善と、集計結果をよりタイムリーに「見える化」するため、ビーコンITの超高速データ抽出、変換・加工ツール「Waha!Transformer(ワハートランスフォーマー)」が採用されました。

「Waha!Transformer」は、各種データベースはもちろん、Excelなどの多様なデータソースと連携することで、過去のデータ資産も有効活用することができ、ITの専門家ではない現場部門の方にとっても、易しい操作性が特徴です。

「Waha!Transformer」導入により、同社では集計作業が自動化され、従来2ヶ月を要していた集計レポートも数分で提供することが可能となりました。高い鮮度と精度を保ったデータを「見える化」することで、改善のための判断と行動を迅速に行うことができる好循環を生み出しています。

